２５　番	長江　秀幸　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
１．人口減少時代における取組について **【質問趣旨】** ５年に１度行われる国勢調査で、９月に公表された最新の結果（２０２５年）によると、日本の人口は３１７万４千人減の１億２２９７万２５２８人となった。本市も４４１３人減の１２万３３７９人となった。人口減少が加速する中、あらゆる公共サービスにおいて担い手不足が加速する恐れもある。住民の暮らしを支える地域づくりをどう進めるかが重要となる。人が減っても暮らしを守る「何を残すか」という視点も重要になってくる。そこで、本市の今後の考え方取り組みについて伺う。	（１）本市の国勢調査における現状と対策について	①本市の人口は、１２万３３７９人となっており人口減少の状況が顕著に現れている。対策として、第６次総合計画に基づく様々な施策に取り組んできたが、現状をどのように分析しているのか伺う。 ②全国データで見てみると、注目されるのが、人口構成の変化が加速したことである。１５歳未満の子どもが１１．２％減の１３３４万９千人と減る一方、６５歳以上の人数は、ほぼ横ばいとなっている。さらに、７５歳以上は増加している。団塊の世代がすべて７５歳以上になったことも背景にあると思う。本市においても、７５歳以上の人口が、３１８４人増の２万３２７４人と増加している。本市は、この現状を踏まえてどのように分析し、今後どのように対応していくのか伺う。 ③全国的に人口が減る中でも世帯数は増加した。一人暮らし世帯が増加したからである。本市も一人暮らし世帯が、１９２６人増の１万６９０２人となっている。医療・介護や見守りなどの支援が重要になり、人口が減っても、行政需要が一様に減るとは限らないと考えるが、どのように対応していくのか伺う。 ④本市における外国人の人口は、１１３６人増の５１０７人となっている。総人口の維持、地域経済の活性化など効果をもたらしている。一方、外国人住民の支援や受け入れに伴う事務負担の増加、地域社会でのコミュニケーション・生活摩擦、教育現場の負担、住宅・住環境の課題などの対応・対策が必要になるが、どのように取り組んでいるのか伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

２５　番	長江　秀幸　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
	（２）自然減対策について	①自然減対策として、結婚・出産・子育て支援等の強化が考えられるが、本市は、これまでどのように取り組んできたのか伺う。
	（３）社会減対策について	①移住・定住の促進、雇用の創出・確保、子育て・教育環境の充実に伴う若い世代の定住等が考えられるが、本市は、これまでどのように取り組んできたのか伺う。 ②働き口がなければ、愛着のある本市（地域）であっても住み続けられないと考える。企業誘致等の取り組みが重要である。また、企業側の経営モデルも関連してくるが、輸出等、地域の強みを伸ばしていくことが重要と考えるが、本市は、雇用の現状と今後についてどのように考えるのか、見解を伺う。
	（４）人口減少社会に対応した取り組みについて	①人口減少が進む中での持続可能なまちづくりは、インフラや行政サービスの縮小・効率化を図る取り組みと、移住や関係人口・交流人口の創出で新しい活力を呼び込む取り組みを合わせた施策が必要になってくるが、どのように取り組んでいくのか伺う。 ②今後、行政サービスを届ける自治体という組織そのものが成り立たなくなっていくことも考えられる。市役所職員のなり手がいなくなるという予測もあり、地方自治体の業務の範囲の見直しを進める必要もあると考える。地方自治体の担い手や業務の見直しをどのように考えるのか、見解を伺う。
	（５）人口集積と広域連携について	①人口が減少する中で、社会インフラを維持しようとすれば、住民負担は大きくなるため、人口の集積を図り、地域社会を機能させるコンパクトなまちづくりが重要と考えるが、これまでの取り組みと今後の方向性について伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

２５　番	長江　秀幸　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
		②地域の主要都市と周辺の地域の小さな人口集積地とで一体的な商圏を築けば民間サービスも残せる。もはや市町村合併では人口減少の解決策とはならない。それよりも、小さな人口集積地の点と点を結ぶ「地域経営」の発想が現実的と考えるが、本市の考え方、今後の取り組みについて伺う。
	（６）人口減少を前提とした地域デザインについて	①人口が減っても暮らしを守ることが大切になってくる。どのサービスや施設を残して何を縮小するのかを住民とともに決めることが重要になると考えるが、見解を伺う。 ②「スマートシュリンク」という言葉がある。人口減少時代における、地域行政のあり方を示す語で、「賢い縮小」と直訳できる。住民生活の質は落とさず、行政サービスの規模を小さくする考え方である。行政サービスの担い手も減っていく中、サービスの提供体制は維持させるという前提に立つ。ＡＩ（人工知能）なども活用しながら、工夫を凝らすことが重要と考えるが、見解を伺う。 ③身寄りのない人を支えるために、地方自治体がすべてのサービスを新しく作る必要はない。すでに地域にあるネットワークを活かす方法もあれば、行政にはない民間企業の得意分野を借りる方法もある。頼れる人がいない時代に地方自治体として、今後どのように役割を果たしていくのか伺う。
	（７）施策の優先順位について	①地域人口の具体的な増減を把握しつつ、一人一人の暮らしを支えるための政策を立案していくことが求められる。その視点としては、地区別の人口や高齢化率、世帯構成、通院・買い物のために必要な交通手段などである。住民のリアルな声も政策の優先順位を見極める上で不可欠な要素と考えるが市長はどのように考えるのか、見解を伺う。

（　3　ページ）

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。